

第 63 回アルゼンチン共和国杯競馬観戦報告

穴戸 和郎

11 月 9 日日曜日、時々冷たい雨がちらつく中、府中にある東京競馬場で、第 63 回アルゼンチン共和国杯が開催されました。会場は、テンポーネ大使以下大使館関係者、他国外交団関係者、日本側政財官の参加者などで華やかな雰囲気になりました（当協会からは伊藤常務理事と筆者が出席）。



アルゼンチン共和国杯カップ



テンポーネ大使ご挨拶

今や遅しと待ち受ける中、午後 3 時 30 分、ついにアルゼンチン共和国杯レースがスタート（第 11 レース、G 2・3 歳上オープン・ハンデ・芝 2500m）。松本大輝騎乗の 9 番人気、ミステリーウェイが勝利しました。レース前半から大きく後続を突き放した「大逃げ」を展開。3・4 コーナー中間では一旦後続が押し寄せましたが、直線で二の脚を発揮して粘りに粘り、逃げ切りました。人馬とも重賞初制覇とのことです。



ゴール寸前の瞬間



勝利したミステリーウェイ号と松本騎手

表彰式の模様



全てのレースが終了した後、パドックではフォルクローレのパフォーマンスが行われました。あいにくの小雨でしたが、夕闇迫る中、照明に浮かび上がった幻想的なシーンを堪能した来場者達でした。



(ししど かずろう：当協会常務理事)